

訪問入浴の付帯サービスについて

サービス提供時には、入浴介助に伴って様々な付帯的なサービスが行われています。

訪問入浴の付帯サービス例

看護的なケア

当日のバイタル確認はもちろんのこと、訪問看護等とも連携し、ご利用者の体調チェックを行うことで、切れ目のない見守りを心掛けます。



全身観察



ワンポイント!

糖尿病の方で気を付けたいのはケガや傷の発生です。入浴中に全身観察が可能な訪問入浴介護では、ここでも早期発見や経過の観察などに期待ができます。

生活支援の側面

寝具等のベッド環境の整備

離床する際に、シーツ、枕カバーなどの交換が行えます。不衛生になりがちなベッド周りも清掃をして、環境を整えることができます。

身体介護の側面

むくみや拘縮・リハビリ要素も

入浴中は温浴作用、浮力・粘性作用により関節も動きやすくなりますので状況によりマッサージなどを行う場合もあります。



臥床姿勢へのアドバイス。

寝たきりである利用者への、清潔な下着や着衣の交換はもちろんのこと、「スキンケア」や「体位の変換」といったご家族への適切なアドバイスも。

全身の整容と向き合う

入浴で清潔の保持はもちろんですが、洗顔、ひげそり(電気シェーバーにて)や爪切り(疾患の無い爪)など、全身の整容を考えてサービスが実施されます。

※付帯サービスの例となりますので、事業所により内容は異なります。